

平成 30年 11月 16日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 大石節雄

島田市議会議員 大関衣世

島田市議会議員 藤本善男

島田市議会議員 八木伸雄

島田市議会議員 齊藤和人

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 30年 11月 10日（土）
午前 7時 分から 午前 8時 30分まで
午後 午後
- 2 会場 山村都市交流センター「ささま」（研修室）
- 3 参加者数 30 人（男性 29人、女性 1人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 大関衣世
 - (3) 挨拶（概要） 大石節雄
 - (4) 答弁 全員
 - (5) 記録 齊藤和人

5 報告事項

(1) 意見及び情報の交換について

各常任委員会における政策提言進捗状況報告

総務生活常任委員会

- ・緑茶化計画については、5年を目安として取り組んでおり今後も引き続いて行う。
- ・北部地域のブロードバンドサービスを利用できる環境整備を進めた。(99.49%)
- ・ふるさと寄付金については、総務省の指導に従って返礼品を地場産品に絞っている。

厚生教育常任委員会

- ・田代の郷運動公園では、フットサル場、大型遊具などについて省くものは省いている。4億数千万円まで減らしている。
- ・市民病院の医師不足に対応していくように今後も研究をしていく。

経済建設常任委員会

- ・中心市街地の活性化のために、松江市での商店街のNPO活動が参考になる。
- ・にぎわい交流拠点(マルシェ)については、新城市のモックルや三島村の駅が参考になる。掛川の道の駅に近いものにすべきと考える。

テーマ 公共交通について

・デマンドタクシーの説明

市内で試験的に導入している、初倉湯日地区のデマンドタクシー事業はタクシー会社へ電話で予約をして利用するが、ルートが湯日地区からバス路線のバス停までということから、利用が少ない。

・自主運行バスについて

北部地域では住民自ら、NPOによる自主運行バスの設立、企画、運営を行う意志があるのだろうか。

島田市としてはNPOによる自主運行バスの設立に期待しているが、地域の取りまとめが難しく進んでいない。設立まではまだ時間が必要である。

- ・利用者の希望としては、乗り換えを減らして市民病院へいきたい。
- ・川根地域に適したシステムを望んでいる。
- ・コミバス、スクールバス、お出かけ支援バスを含めて最も効率的な方法を見つけてほしい。

などの意見が出された。

市政全般について

- ・台風24号で停電になったが、川根小学校の担当教師がメール配信で連絡を取ろうとした。受信側は停電していてバッテリーが切れ受信できなかった。配慮が欲しい。
- ・子どもをスクールバスに乗せたと教師が言ったが、子どもはコミバスで帰って来た。子どもの所在が分からず心配した。
- ・市民病院の医師不足が指摘されているが、手配できるのか。
- ・台風24号による崩土箇所を自分たちで補修したが、費用を弁済してもらえるか。
- ・害獣対策で補助を増やしてほしい。

- ・川根支所の予算を増やしてほしい。
- ・川根支所では、現物支給ができるようになってきた。
- ・要望しても過疎地域の問題として取り扱っていない。
- ・議会で質問したことをそのままにせず、成り行きを追求して行ってほしい。

6 その他

(1) 周知方法について（会場ごとにどのような工夫をしたか）

7 まとめ（所見）

前回の川根地区での時とは違い、沢山の市民が参加してくれました。また、厳しい意見も出されましたが、市民の声に耳を傾け、市民参加の地域づくりを進めて行かなくてはならないと、改めて感じました。また、地域をまとめて頂き是非とも自主運行バスを実現していただきたいと思います。